

# 蓄光

## — 蓄光特性 —

蓄光材料は、ほぼ 250～450 nm の波長領域の光により励起されて発光する。従って紫外線を多く含む光ほどよく発光する。

硫化物系蓄光材料は耐光性が悪く、屋外では使用できないものとされていたが、新しい酸化物系蓄光材料は優れた耐光性をもっている。

JIS Z 9107（安全標識）に規定するサンシャインカーボン式促進耐候性試験法による 3,000 時間の試験結果でもほとんど変化がなく、優れた耐候性のあることを実証しており、屋外での使用に問題のないことが実証された。

よく、蓄光材料のことを“暗くなると光る”という言い方をされているが、蓄光は昼でも光っている。ただ、月や星と同じように周りが明るいとき周りの明るさに影響されて目立たないだけです。それが電気を消した場合や停電した場合に明るく光って見える。

蓄光材料の構造例を **下図** に示す。

